

～認知症になっても、住み慣れた地域で自分らしく暮らせるように～

余市町認知症初期集中支援チームが「あなた」と『ご家族』をサポートします

認知症初期集中支援チームとは？

認知症サポート医と保健師、社会福祉士など（医療・介護の専門職）で構成する認知症の支援チームです。町民の方々が認知症になってもご本人の意志が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けられるよう支援を行います。

どのようなサポートをするの？

認知症またはその疑いのある方やそのご家族を訪問し、相談に応じます。その上で必要に応じ医療機関の受診や介護保険サービスの利用につなげたり、ご家族の負担軽減のための支援を行います。



対象となる方は？

町内にお住まいの40歳以上の方で、在宅で生活しており、認知症が疑われる方または認知症の症状でお困りの方です。

認知症は早期診断、早期対応が重要です！まずはお近くの相談窓口にご相談ください！

◎役場 高齢者福祉課 ☎21-2119

◎余市町地域包括支援センター「あったか」 ☎48-6015（黒川町12丁目62番地1：イオン余市店内）

◎余市町在宅介護支援センターかるな ☎22-3115（沢町5丁目77番地）

「日本老年学的評価研究プロジェクトとの共同研究の一環として北海道大学大学院医学研究科との共同調査」を実施します。ご協力ください!!

本町では、昨年10月、在宅で生活している介護認定を受けていない65歳以上の方の全員を対象に「健康とくらしの調査」を実施しました。本調査には多くの方々にご協力いただきありがとうございました。

その際に、調査を委託した国立長寿医療研究センター（事務局：日本老年学的評価研究プロジェクト）と共同で、介護保険の政策評価の実施や介護予防に関する調査研究事業に取り組むために研究協定を結んでいます。

このたび、共同研究の一環として、生活習慣、認知機能や住環境が要介護状態発生に及ぼす影響を調べることにしました。（実際の調査は北海道大学が行います。）

対象となる方には、調査への協力についての依頼文を送付しますので、ご理解とご協力をお願いいたします。



調査の対象者

平成29年4月1日時点で町内在住の70歳～79歳の方で、昨年実施した「健康とくらしの調査」に回答いただいた方の中で、本調査に協力をいただける方。

9月下旬頃に対象の方へ協力依頼文を送付します。ご協力いただける場合には10月下旬より順次、調査を開始します。

問合せ 高齢者福祉課 高齢者福祉グループ ☎21-2119